

彩の国工場に新たに2社

(株)オークソニック・(株)デコス

埼玉県では、技術力や環境面で優れている工場を、「彩の国工場」として県知事名で指定している。この制度は平成6年度から始まり、現在までの20年間に515工場が指定されてきた。県では、彩の国工場は、工場見学などを通じて県民と工場をつなぐような大切な役割を担っていると位置付けている。

今年度の「彩の国工場」指定式は、11月7日に知事公館で開かれ、新たな指定工場40社が集い上田知事を囲んだ。飯能からは、(株)オークソニック（阿須891-24）と(株)デコス（茜台3-2-10）の2社が新たな彩の国工場となった。飯能の彩の国工場は14社を数える。

(株)オークソニック（坪根泉氏）は、超音波探触



△上田知事に超音波探触子の用途を説明する坪根社長(手前)。同社は阿須のカインズホームの南側にある。

子専門の製造販売会社で、平成6年に創業した。超音波探触子とは、おもに医療用の超音波診断装置や皮下脂肪測定などの健康機器に使用されている器具で、同社では顧客の要望に応じて超音波探触子の設計から開発まで一貫して手掛けている。

(株)デコス（安成信次氏）は、断熱材の製造販売会社で、昭和49年に山口県下関市で創業した。今年7月に大河原工業団地に本年埼玉工場を開設した。工場では、セルローズファイバーという断熱材を製造している。これは古新聞を材料として製造され、断熱・調湿・吸音・防音等に優れた性質を持ち、製造工程において他の断熱材に比べてCO₂の排出量が格段に低い。



△上田知事にセルローズファイバーの吸音・防音能力を装置を使って説明する田所事業部次長(左)。

飯能市表彰

産業の開発と振興会等に貢献



石田百合子氏
（石田屋菓子店）



小久保勝弘氏
（南魚福商店）



後藤 修氏
（富士屋米店）



谷口 佳男氏
（谷口材木店）